

注3

大学番号：079

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

宮崎大学大学院 工学研究科 工学専攻

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 宮崎大学  
平成29年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 企画総務部企画評価課

職名・氏名 企画推進係長・山崎 勝也  
企画推進係・松田 孝光

電話番号 0985-58-7967

（夜間） 0985-58-7967

F A X 0985-58-2886

e-mail hyouka@of.miyazaki-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

宮崎大学大学院

<工学研究科 工学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 宮崎大学

## (2) 大学名

宮崎大学大学院

## (3) 大学の位置

〒889-2192

宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イケノウエ ツヨム) 池ノ上 克 (平成27年10月)		
研究科長	(ヨコタ ミツヒロ) 横田 光広 (平成27年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 工学専攻(修士課程) 修士(工学)	工学関係	2年	134人	268人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員超過率		備考
	平成28年度	平成29年度	春季入学	その他の学期	
A 入学定員	134人 (若干人) [若干人]	134人 (若干人) [若干人]	1.07倍		
志願者数	182 (-) [10]	170 (-) [2]			
受験者数	176 (-) [9]	159 (-) [2]			
合格者数	173 (-) [8]	158 (0) [2]			
B 入学者数	144 (-) [8]	144 (-) [2]			
入学定員超過率 B/A	1.07	1.07			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	144 [ 8 ] ( - )	— [ - ] ( - )	144 [ 2 ] ( - )	16 [ 16 ] ( - )	
2年次	/		139 [ 8 ] ( - )	— [ - ] ( - )	
計	144 [ 8 ] ( - )		299 [ 26 ] ( - )		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	144 人	5 人	平成28年度	5 人	0 人	就職(3人)、除籍(1人)、修学意欲喪失(1人)	3.47 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	161 人	1 人	平成29年度	1 人	1 人	除籍(1人)	0.62 %
合 計	305 人	6 人					1.96 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<工学研究科 工学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻共通科目	エンジニアリングコミュニケーション	1前	1			44 42 32	32 41		14 8		※実習 教員の採用、職位変更等による担当教員変更(28) 教員の採用、職位変更等による担当教員変更(29)
	工学マネジメントワーク	1通	1			44 42 32	32 41		14 8		※実習 教員の採用、職位変更等による担当教員変更(28) 教員の採用、職位変更等による担当教員変更(29)
	工学専攻特別セミナー	1後	2			44 42 32	32 41		14 8		教員の採用、職位変更等による担当教員変更(28) 教員の採用、職位変更等による担当教員変更(29)
	インターンシップ	1通	1			44 42 32	32 41		14 8		教員の採用、職位変更等による担当教員変更(28) 教員の採用、職位変更等による担当教員変更(29)
	長期インターンシップ	1通	2			44 42 32	32 41		14 8		教員の採用、職位変更等による担当教員変更(28) 教員の採用、職位変更等による担当教員変更(29)
	技術経営とベンチャービジネス論	1前	2				1			兼 10	オムニバス
	知的財産管理と技術者倫理	1前	2				1			兼 8 9	オムニバス 担当教員の見直し(28)
	MOT and Venture Business	1後	2							兼 1	
	海外研究プレゼンテーション	2後	2			44 42 32	32 41				教員の採用、職位変更等による担当教員変更(28) 教員の採用、職位変更等による担当教員変更(29)
	工学専攻特別研究 I	1通	4			44 42 32	32 41		10 14 8		教員の採用、職位変更等による担当教員変更(28) 教員の採用、職位変更等による担当教員変更及び担当教員の見直し(29)
工学専攻特別研究 II	2通	6			44 42 32	32 41		10 14 8		教員の採用、職位変更等による担当教員変更(28) 教員の採用、職位変更等による担当教員変更及び担当教員の見直し(29)	
コース必修科目	環境システム工学特論(環境系コース)	1前	2			4 3	2 3				オムニバス 職位変更による担当教員変更(29)
	エネルギー科学特論(エネルギー系コース)	1前	2			3 2	0 2				オムニバス 担当教員の見直し(29)
	ものづくりのための設計システム特論(機械・情報系コース) 発明問題解決法とデジタルエンジニアリング	1前	2			1					教職課程認定申請時に科目名称変更(28)
農科工連携	生体分子機能化学特論	1前	2							兼 2	
	微生物機能開発学特論	1通	2							兼 2	
	食品栄養機能化学特論	1前	2							兼 2	
	応用生態学	1後	2							兼 1	
専攻選択科目	分離機能化学特論	1前	2				1				
	有機合成化学	1前	2				1				
	有機機能物質化学	1前	2				1				
	光触媒化学	1後	2				1				
	生体高分子機能構造学	1前	2				1	4			教員の職位変更による変更(28)
	環境生物学	1後	2				1				
	生物環境化学	1後	2				1				
	生体触媒工学	1後	2				4			兼 1	教員の退職による担当教員変更(29)
	光機能化学	1前	2				1				
光化学反応論	1後	2				1					

環境系コース	反応操作特論	1前	2	1	4				教員の職位変更による変更 (29)
	高分子材料化学	1前	2		1				
	エネルギー材料化学	1後	2	1					
	材料化学特論	1後	2	1					
	反応設計技術論	1後	2	1	4				教員の職位変更による変更 (29)
社会環境工学モデル	構造力学特論	1後	2	1					
	地盤工学特論	1後	2		4				教員の死去に伴い廃止 (29)
	海岸環境工学特論	1前	2	1	4				教員の職位変更による変更 (28)
	水環境工学	1後	2	1					
	環境防災水理学特論	1後	2	1					授業科目の充実のため科目追加 (29)
	最終処分場設計論	1前	2	1					
	廃棄物循環資源学特論	1前	2		1				授業科目の充実のため科目追加 (28)
	地震工学特論	1前	2	1					
	地盤環境工学	1後	2	1					
	コンクリート工学特論	1後	2		1				
材料開発モデル	交通計画特論	1前	2		1				
	都市計画特論	1前	2	4				兼 1	配置換えによる所属変更(28)
	先端半導体デバイス特論	1後	2	1	4				教員の職位変更による変更 (29)
	固体物理学	1前	2	1					
	薄膜結晶成長工学	1後	2		1				
	光エレクトロニクス材料工学	1前	2	1					
	光センシング工学	1前	2		1				
	半導体物性工学	1後	2	1	4				教員の職位変更による変更 (28)
	再生可能エネルギー論	1後	2	1	4				教員の職位変更による変更 (28)
	レーザー応用工学	1後	2	4				兼 1	教員の退職による担当教員変更 (28)
専攻選択科目	光エネルギー応用工学	1前	2		4			兼 1	申請時の誤植 (29)
	半導体評価技術	1後	2		4			兼 1	申請時の誤植 (29)
	回路合成論	1後	2		1				
	光通信システム	1後	2	1					
	アナログ集積回路	1前	2	1					
	電力工学	1後	2	1					

エネルギー系コース	電離気体工学	1前	2	1					
	画像処理論	1後	2	1	4				教員の職位変更による変更 (28)
	数値電磁界解析	1前	2		1				
エネルギーサイエンスモデル	量子力学特論	1後	2	1					
	高エネルギー天文学	1前	2	1					
	宇宙物理学特論	1後	2		1				
	原子過程	1前	2	1					
	ハドロン物理学	1前	2	1					
	原子核物理学	1後	2		1				
	核医学基礎論	1後	2		4			兼 1	申請時の誤植 (29)
	一般相対性理論	1前	2		4			兼 1	申請時の誤植 (29)
応用数学モデル	非線形力学系	1前	2	1					
	生体内拡散の数理解析 固有値問題特論	1前	2	1					授業科目の充実のため科目名称変更 (28)
	物理的現象の数理解析 非線形微分方程式入門	1後	2		1				授業科目の充実のため科目名称変更 (28)
	数理生物学特論 非線形常微分方程式論	1後	2		1				授業科目の充実のため科目名称変更 (28)
	非線形科学概論	1前	2		1				
	微分方程式特論	1後	2				1		授業科目の充実のため科目追加 (29)
機械システム工学モデル	機械力学特論	1前	2	1					
	材料力学特論	1後	2	1					
	流体制御特論	1後	2	1					
	熱力学特論	1前	2		1				
	生体医療工学特論	1前	2				1	兼 1	配置換えによる所属変更 (28)
	機械加工学特論	1前	2		1				
	推進工学特論	1前	2		1				
	機械振動学特論	1後	2		1				
	流体力学特論	1前	2	1					授業科目の充実のため科目追加 (28)
機械材料工学特論	1後	2		1				授業科目の充実のため科目追加 (28)	



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	地盤工学特論	2	1後	専門	選択	教員の死去に伴い廃止。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

現在、同科目を担当していた者に代わる地盤工学系教員を新たに募集する計画があり、早ければ今年度中の着任が予定されている。同科目は修士1年後期に設置された科目で、これに代替する科目を新任教員が今年度中に開講(集中講義の可能性を含む)すれば学生への影響は小さい。また、今年度中の開講ができなかった場合でも、修士課程2年次での履修が可能であり、その影響は限定的である。学生への周知については、同教員の死去に関してすでに情報共有されており、29年度履修案内から同科目を削除している。代替科目の設置については新任教員が着任次第、大学院担当認定手続きを進め、掲示板等により開講の告知を行い、履修者を集める。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{101} = \boxed{0.99}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	386,343,380.332㎡	0㎡	0㎡	386,343,380.332㎡	申請時の誤植(29)			
	運動場用地	107,787㎡	0㎡	0㎡	107,787㎡				
	小 計	494,130,488.119㎡	0㎡	0㎡	494,130,488.119㎡				
	そ の 他	7,356,114,736.335㎡	0㎡	0㎡	7,356,114,736.335㎡				
	合 計	7,850,244,852.454㎡	0㎡	0㎡	7,850,244,852.454㎡				
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 申請時の誤植(29)				
	104,237,404.402㎡ ( 104,237,404.402㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	104,237,404.402㎡ ( 104,237,404.402㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	142室	326室	834室	13室 (補助職員 0人)	4室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成28年5月以降に専任教員数が2名増加したため(29)			
	工学研究科 工学専攻			90 88 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体	
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕					点
	工学研究科	626,775 [184,225] (629,425 [184,533])	15,542 [4,643] (15,088 [4,534])	5,883 [5,883] (5,621 [5,621])	4,928 (5,034)	38,645 (39,005)	70 (70)		
	計	626,775 [184,225] (629,425 [184,533])	15,542 [4,643] (15,088 [4,534])	5,883 [5,883] (5,621 [5,621])	4,928 (5,034)	38,645 (39,005)	70 (70)		
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	7,005㎡		730席		544,000冊				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	4,444㎡		武道場、弓道場、多目的グラウンド、球技コート、テニスコート、プール						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	宮崎大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入学 定員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
≪ A C対象学部等 ≫									
【学部】 教育学部 学校教育課程	4	120	-	480	学士（教育学）	1.05	平成28年度	宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 同上	
教育文化学部 学校教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成20年度	宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 同上	平成28年度より学生募集停止
人間社会課程	4	-	-	-	学士（教養）	-	平成20年度	同上	平成28年度より学生募集停止
医学部 医学科	6	110	-	660	学士（医学）	1.00	平成15年度	宮崎県宮崎市清武町木原5200番地 同上	
看護学科	4	60	3年次10	260	学士（看護学）	1.00	平成15年度	同上	
工学部 環境応用化学科	4	58	-	232	学士（工学）	1.00	平成24年度	宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 同上	
社会環境システム工学科	4	53	-	212	学士（工学）	1.01	平成24年度	同上	
環境ロボティクス学科	4	49	-	196	学士（工学）	1.01	平成24年度	同上	
機械設計システム工学科	4	54	-	216	学士（工学）	1.02	平成24年度	同上	
電子物理工学科	4	53	-	212	学士（工学）	1.01	平成24年度	同上	
電気システム工学科	4	49	-	196	学士（工学）	1.02	平成24年度	同上	
情報システム工学科	4	54	-	216	学士（工学）	1.02	平成24年度	同上	
学部共通	-	-	3年次10	20					
材料物理工学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	平成15年度	同上	平成24年度より学生募集停止
物質環境化学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	平成15年度	同上	平成24年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	平成15年度	同上	平成24年度より学生募集停止
土木環境工学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	平成15年度	同上	平成24年度より学生募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	平成15年度	同上	平成24年度より学生募集停止
農学部 植物生産環境科学科	4	52	-	202	学士（農学）	1.02	平成22年度	宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 同上	
森林緑地環境科学科	4	52	-	202	学士（農学）	1.01	平成22年度	同上	
応用生物科学科	4	57	-	222	学士（農学）	1.00	平成22年度	同上	
海洋生物環境学科	4	33	-	123	学士（農学）	1.02	平成22年度	同上	
畜産草地科学科	4	61	-	211	学士（農学）	1.01	平成22年度	同上	
獣医学科	6	30	-	180	学士（獣医学）	1.04	平成22年度	同上	
地域資源創成学部 地域資源創成学科	4	90	-	360	学士（地域資源創成学）	1.07	平成28年度	宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 同上	
【大学院】 教育学研究科 （修士課程） 学校教育支援専攻 （専門職学位課程） 教職実践開発専攻	2	8	-	16	修士（教育学）	1.12	平成20年度	宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 同上	
教職実践開発専攻	2	28	-	56	教職修士（専門職）	0.85	平成20年度	同上	
医科学看護学研究科 （修士課程） 医科学専攻	2	-	-	-	修士（医科学）	-	平成15年度	宮崎県宮崎市清武町木原5200番地 同上	平成26年度より学生募集停止
看護学専攻	2	-	-	-	修士（看護学）	-	平成17年度	同上	平成26年度より学生募集停止
看護学研究科 （修士課程） 看護学専攻	2	10	-	20	修士（看護学）	1.10	平成26年度	宮崎県宮崎市清武町木原5200番地 同上	

工学研究科 (修士課程)								宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地	
工学専攻	2	134	—	134	修士(工学)	1.07	平成28年度	同上	
応用物理学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成17年度	同上	平成28年度より学生募集停止
物質環境化学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成17年度	同上	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成17年度	同上	平成28年度より学生募集停止
土木環境工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成17年度	同上	平成28年度より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成17年度	同上	平成28年度より学生募集停止
情報システム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成17年度	同上	平成28年度より学生募集停止
農学研究科 (修士課程)								宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地	
農学専攻	2	68	—	136	修士(農学) 修士(水産学) 修士(学術)	1.03	平成26年度	同上	
応用生物科学専攻	2	—	—	—	修士(農学) 修士(学術)	—	平成17年度	同上	平成26年度より学生募集停止
医学獣医学総合研究科 (修士課程)								宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎県宮崎市清武町木原5200番地	
医科学獣医学専攻	2	8	—	16	修士(医科学) 修士(動物医科学)	1.25	平成26年度	同上	
(博士課程) 医学獣医学専攻	4	23	—	92	博士(医学) 博士(獣医学)	1.33	平成22年度	同上	
医学系研究科 (博士課程)								宮崎県宮崎市清武町木原5200番地	
医学専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	平成20年度	同上	平成22年度より学生募集停止
細胞・器官系専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	平成17年度	同上	平成20年度より学生募集停止
生体制御系専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	平成17年度	同上	平成20年度より学生募集停止
生体防衛機構系専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	平成17年度	同上	平成20年度より学生募集停止
環境生態系専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	平成17年度	同上	平成20年度より学生募集停止
農学工学総合研究科 (博士後期課程)								宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地	
資源環境科学専攻	3	7	—	21	博士(農学) 博士(工学)	0.95	平成19年度	同上	
生物機能応用科学専攻	3	4	—	12	博士(学術)	0.75	平成19年度	同上	
物質・情報工学専攻	3	5	—	15	博士(工学) 博士(学術)	1.00	平成19年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 工学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	
専	教授	松下 洋一	平成28年4月					
専	教授	白上 努	平成28年4月					
専	教授	横井 春比古	平成28年4月					
専	教授	林 幸男	平成28年4月	兼任	非常勤講師	林 幸男	平成29年4月	平成29年3月定年退職に伴う所属、職位及び担当科目の変更。後任未定(29)
専	教授	保田 昌秀	平成28年4月					
専	教授	金子 宏	平成28年4月					
専	教授	酒井 剛	平成28年4月					
専	教授	鈴木 祥広	平成28年4月					
専	教授	土手 裕	平成28年4月					

専	教授	原田 隆典	平成28年4月	地震工学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	教授	亀井 健史	平成28年4月	地盤環境工学 環境システム工学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	教授	出口 近士	平成28年4月	都市計画特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	兼担	教授	出口 近士	平成28年4月	都市計画特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	配置換えによる所属及び担当科目の変更 (28)
専	教授	前田 幸治	平成28年4月	固体物理学 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	専	教授	前田 幸治	平成28年4月	固体物理学 <b>エネルギー科学特論</b> エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	担当教員見直しによる科目の追加 (29)
専	教授	横谷 篤至	平成28年4月	光エレクトロニクス材料工学 エネルギー科学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	専	教授	横谷 篤至	平成28年4月	光エレクトロニクス材料工学 <b>エネルギー科学特論</b> エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	担当教員見直しによる科目の削除 (29)
専	教授	窪寺 昌一	平成28年4月	レーザー応用工学 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	兼任	非常勤 講師	窪寺 昌一	平成28年4月	レーザー応用工学 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	平成28年3月他大学への異動に伴う所属、 職位及び担当科目の変更 (28)
専	教授	横田 光広	平成28年4月	光通信システム エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	教授	淡野 公一	平成28年4月	アナログ集積回路 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	教授	林 則行	平成28年4月	電力工学 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	専	教授	林 則行	平成28年4月	<b>エネルギー科学特論</b> 電力工学 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	担当教員見直しによる科目の追加 (29)
専	教授	迫田 達也	平成28年4月	電離気体工学 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	教授	大崎 明彦	平成28年4月	量子力学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						

専	教授	山内 誠	平成28年4月	高エネルギー天文学 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ								
専	教授	五十嵐 明則	平成28年4月	原子過程 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ								
専	教授	松田 達郎	平成28年4月	ハドロン物理学 エネルギー科学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ								
専	教授	辻川 亨	平成28年4月	非線形力学系 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ								
専	教授	飯田 雅人	平成28年4月	固有値問題特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	専	教授	飯田 雅人	平成28年4月	固有値問題特論 体内拡散の数理 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ		授業科目の充実のための科目名称変更(28)	
専	教授	鄧 鋼	平成28年4月	ものづくりのための設計システム特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ								
専	教授	岡部 匡	平成28年4月	機械力学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ								
専	教授	河村 隆介	平成28年4月	材料力学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ								
専	教授	小園 茂平	平成28年4月	流体制御特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ								
専	教授	申 炳録	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	専	教授	申 炳録	平成28年4月	流体力学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ		授業科目の充実のため科目追加(28)	
専	教授	佐藤 治	平成28年4月	ロボット・ハンドリング エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ								

専	教授	川末 紀功仁	平成28年4月	計測制御システム エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II						
専	教授	穂高 一条	平成28年4月	制御と回路の理論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II						
専	教授	廿日出 勇	平成28年4月	データ解析特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II						
専	教授	山森 一人	平成28年4月	並列処理と機械学習特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II						
専	教授	岡崎 直宣	平成28年4月	情報ネットワーク特論 技術経営とベンチャービジネス論 知的財産管理と技術者倫理 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II						
専	教授	椋木 雅之	平成28年4月	コンピュータビジョン特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II						
					専	教授	入江 光輝	平成28年4月	環境防災水理学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II	授業科目充実のための科目追加 (29) 教員の新規採用 (28)
					専	教授	森田 千尋	平成28年6月	構造力学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II	教員の新規採用 (29)
専	准教授	湯井 敏文	平成28年4月	生体高分子機能構造学 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II		教授				教員の職位変更による変更 (28)
専	准教授	塩盛 弘一郎	平成28年4月	反応操作特論 反応設計技術論 環境システム工学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II		教授				教員の職位変更による変更 (29)
専	准教授	村上 啓介	平成28年4月	海岸環境工学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II		教授				教員の職位変更による変更 (28)

専	准教授	吉野 賢二	平成28年4月	再生可能エネルギー論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						教員の職位変更による変更(28)
専	准教授	福山 敦彦	平成28年4月	半導体物性工学 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						教員の職位変更による変更(28)
専	准教授	西岡 賢祐	平成28年4月	先端半導体デバイス特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						教員の職位変更による変更(29)
専	准教授	Thi Thi Zin	平成28年4月	画像処理論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						教員の職位変更による変更(28)
専	准教授	田村 宏樹	平成28年4月	信号処理論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						教員の職位変更による変更(28)
専	准教授	大島 達也	平成28年4月	分離機能化学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	菅本 和寛	平成28年4月	有機合成化学 環境システム工学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	廣瀬 遼	平成28年4月	生物環境化学 環境システム工学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	松本 仁	平成28年4月	高分子材料化学 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	瀬崎 満弘	平成28年4月	地盤工学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ					後任未定	平成28年12月死去による辞任。後任未定(29)
専	准教授	関戸 知雄	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	専	准教授	関戸 知雄	平成28年4月	廃棄物循環資源学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	授業科目の充実のため科目追加(28)

専	准教授	李 春鶴	平成28年4月	コンクリート工学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	嶋本 寛	平成28年4月	交通計画特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	鈴木 秀俊	平成28年4月	薄膜結晶成長工学 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	荒井 昌和	平成28年4月	光センシング工学 エネルギー科学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	専	准教授	荒井 昌和	平成28年4月	光センシング工学 <del>エネルギー科学特論</del> エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	担当教員見直しによる科目の削除(29)
専	准教授	松本 寛樹	平成28年4月	回路合成論 エネルギー科学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	専	准教授	松本 寛樹	平成28年4月	回路合成論 <del>エネルギー科学特論</del> エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	担当教員見直しによる科目の削除(29)
専	准教授	武居 周	平成28年4月	数値電磁界解析 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	森 浩二	平成28年4月	宇宙物理学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	前田 幸重	平成28年4月	原子核物理学 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	梅原 守道	平成28年4月	非線形微分方程式入門 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	専	准教授	梅原 守道	平成28年4月	非線形微分方程式入門 物理的現象の数理解析 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	授業科目の充実のため科目名称変更(28)
専	准教授	今 隆助	平成28年4月	非線形常微分方程式論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	専	准教授	今 隆助	平成28年4月	非線形常微分方程式論 数理生物学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	授業科目の充実のため科目名称変更(28)
専	准教授	出原 浩史	平成28年4月	非線形科学概論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						

専	准教授	長瀬 慶紀	平成28年4月	熱力学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	大西 修	平成28年4月	機械加工学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	各務 聡	平成28年4月	推進工学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	盆子原 康博	平成28年4月	機械振動学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	松永 直樹	平成28年4月	無機材料化学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	横道 政裕	平成28年4月	自律移動システム エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	李 根浩	平成28年4月	ロボット工学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	奥山 勇治	平成28年4月	イオニクス材料特論	専 兼担	准教授	奥山 勇治	平成28年4月	イオニクス材料特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	配置換えによる所属変更(28) 配置換えによる所属変更及び担当科目の 追加(29)
専	准教授	坂本 真人	平成28年4月	オートマトン・言語理論・計算論特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	片山 徹郎	平成28年4月	ソフトウェア工学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						
専	准教授	池田 諭	平成28年4月	オペレーションズ・リサーチ特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ						

専	准教授	伊達 章	平成28年4月	数理論科学 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II						
専	准教授	久保田 真一郎	平成28年4月	ネットワーク運用とその応用技術特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II	兼任	准教授	久保田 真一郎	平成28年4月	ネットワーク運用とその応用技術特論	平成29年2月 久保田真一郎准教授 他大学への異動のため辞任。後任未定 (29) 教員の新規採用(29)
専	准教授	油田 健太郎	平成29年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II	専	准教授	油田 健太郎	平成29年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II	
専	准教授	青木 謙二	平成28年4月	生体情報工学特論	兼任					配置換えによる所属変更(28)
					専	准教授	鍋谷 悠	平成28年10月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II	教員の新規採用(29)
専	助教	加来 昌典	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II	専	准教授	加来 昌典	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II	教員の職位変更による変更及び科目の追加(29)
専	助教	木之下 広幸	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II	専	准教授	木之下 広幸	平成28年4月	機械材料工学特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 海外研究プレゼンテーション 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II	授業科目の充実のため科目追加(28) 教員の職位変更による変更(28)
専	助教	宮武 宗利	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II						
専	助教	尾上 幸造	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II			後任未定			平成28年3月他大学への異動のため辞任。 後任未定(28)
専	助教	長田 尚一郎	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II						
専	助教	友松 重樹	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II						
専	助教	高橋 伸弥	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II						
専	助教	山場 久昭	平成28年4月	知識情報処理特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究 I 工学専攻特別研究 II						
専	助教	山子 剛	平成28年4月	生体医療工学特論	兼任					配置換えによる所属変更(28)

					専	助教	大柴 薫	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	担当教員の見直しによる追加(28)  担当科目の見直し(29)
					専	助教	原一弘行 後任未定	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	教員の新規採用(28)  平成29年3月他大学への異動のため辞任 (29)後任未定
					専	助教	糠澤 桂	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	教員の新規採用(28)
					専	助教	横山 宏有	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	担当教員の見直しによる追加(28)  担当科目の見直し(29)
					専	助教	亀山 晃弘	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	担当教員の見直し(28)
					専	助教	椎屋 和久	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	担当教員の見直しによる追加(28)  担当科目の見直し(29)
					専	助教	宮城 弘守	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	担当教員の見直しによる追加(28)  担当科目の見直し(29)
					専	助教	片山 晋	平成28年4月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	担当教員の見直しによる追加(28)  担当科目の見直し(29)
					専	助教	伊藤 翼	平成29年2月	微分方程式特論 エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	授業科目の充実のため科目追加(29)  教員の新規採用(29)
					専	助教	井上 健太郎	平成29年2月	エンジニアリングコミュニケーション 工学マネジメントワーク 工学専攻特別セミナー インターンシップ 長期インターンシップ 工学専攻特別研究Ⅰ 工学専攻特別研究Ⅱ	教員の新規採用(29)
兼担	教授	榊原 陽一	平成28年4月	生体分子機能化学特論						
兼担	准教授	服部 秀美	平成28年4月	生体分子機能化学特論						
兼担	教授	吉田 直人	平成28年4月	微生物機能開発学特論						
兼担	教授	井上 謙吾	平成28年4月	微生物機能開発学特論						

兼任	教授	窄野 昌信	平成28年4月	食品栄養機能学特論							
兼任	教授	榊原 啓之	平成28年4月	食品栄養機能学特論							
兼任	教授	西脇 亜也	平成28年4月	応用生態学							
兼任	准教授	甲藤 正人	平成28年4月	光エネルギー応用工学							
兼任	准教授	境 健太郎	平成28年4月	半導体評価技術							
兼任	准教授	長町 茂樹	平成28年4月	核医学基礎論							
兼任	准教授	大桑 良彰	平成28年4月	一般相対性理論							
兼任	准教授	丹生 晃隆	平成28年4月	技術経営とベンチャービジネス論							
兼任	准教授	小林 太一	平成28年4月	知的財産管理と技術者倫理							
兼任	特任教授	山崎 基生	平成28年4月	知的財産管理と技術者倫理							
兼任	非常勤講師	小幡 小百合	平成28年4月	技術経営とベンチャービジネス論							
兼任	非常勤講師	堀田 源治	平成28年4月	技術経営とベンチャービジネス論 知的財産管理と技術者倫理							
兼任	非常勤講師	篠原 英智	平成28年4月	技術経営とベンチャービジネス論	兼任	非常勤講師	堀江 順司	平成29年3月	技術経営とベンチャービジネス論	平成28年9月篠原非常勤講師 雇用期間満了のため辞任(29)	
兼任	非常勤講師	福永 鉄也	平成28年4月	技術経営とベンチャービジネス論							
兼任	非常勤講師	島原 俊英	平成28年4月	技術経営とベンチャービジネス論							

兼任	非常勤講師	東辻 哲郎	平成28年4月	技術経営とベンチャービジネス論						
兼任	非常勤講師	竹崎 一郎	平成28年4月	技術経営とベンチャービジネス論						
兼任	非常勤講師	長友 信裕	平成28年4月	技術経営とベンチャービジネス論						
兼任	非常勤講師	山路 哲平	平成28年4月	技術経営とベンチャービジネス論						
兼任	非常勤講師	新城 裕司	平成28年4月	知的財産管理と技術者倫理						
兼任	非常勤講師	衛藤 彰	平成28年4月	知的財産管理と技術者倫理	兼任	非常勤講師	崎田 健二	平成29年1月	知的財産管理と技術者倫理	平成28年9月衛藤非常勤講師雇用期間満了のため辞任(29)
兼任	非常勤講師	小木 智彦	平成28年4月	知的財産管理と技術者倫理						
兼任	非常勤講師	重信 和男	平成28年4月	知的財産管理と技術者倫理						
兼任	非常勤講師	松尾 信介	平成28年4月	知的財産管理と技術者倫理						
兼任	非常勤講師	石川 正樹	平成28年4月	知的財産管理と技術者倫理			後任未定			担当教員の見直し。後任未定(28)
兼任	非常勤講師	伊藤 孝夫	平成28年4月	MOT and Venture Business						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成29年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

## (2) 専任教員数等

## (2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
20 名	14 名	— 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

## (2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
32 (41)	41 (33)	0 (0)	8 (14)	81 (88)	44	32	0	14	90	44 [12]	32 [△9]	0 [0]	14 [6]	90 [9]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
81 (83)	0 (5)	0 (0)			86	4	0			86 [5]	4 [4]	0 [0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、

[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

## (2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、

および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	助教	尾上 幸造	必修	エンジニアリングコミュニケーション	①	平成28年3月他大学への異動のため就任辞退。(28)				
			必修	工学マネジメントワーク	①					
			必修	工学専攻特別セミナー	①					
			選択	インターンシップ	①					
			選択	長期インターンシップ	①					
			必修	工学専攻特別研究 I	①					
			必修	工学専攻特別研究 II	①					
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	瀬崎 満弘	選択	地盤工学特論	③	死亡（業務外）のため辞任 (29)
			必修	エンジニアリングコミュニケーション	①	
			必修	工学マネジメントワーク	①	
			必修	工学専攻特別セミナー	①	
			選択	インターンシップ	①	
			選択	長期インターンシップ	①	
			選択	海外研究プレゼンテーション	①	
			必修	工学専攻特別研究 I	①	
			必修	工学専攻特別研究 II	①	
2	准教授	久保田 真一郎	選択	ネットワーク運用とその応用技術特論	②	辞職 (29)
			必修	エンジニアリングコミュニケーション	①	
			必修	工学マネジメントワーク	①	
			必修	工学専攻特別セミナー	①	
			選択	インターンシップ	①	
			選択	長期インターンシップ	①	
			選択	海外研究プレゼンテーション	①	
			必修	工学専攻特別研究 I	①	
			必修	工学専攻特別研究 II	①	
3	教授	林 幸男	選択	生体触媒工学	②	定年退職のため辞任 (29)
			必修	エンジニアリングコミュニケーション	①	
			必修	工学マネジメントワーク	①	
			必修	工学専攻特別セミナー	①	
			選択	インターンシップ	①	
			選択	長期インターンシップ	①	
			選択	海外研究プレゼンテーション	①	
			必修	工学専攻特別研究 I	①	
			必修	工学専攻特別研究 II	①	

4	助教	原 弘行	必修	エンジニアリングコミュニケーション	①	退職 (29)								
			必修	工学マネジメントワーク	①									
			必修	工学専攻特別セミナー	①									
			選択	インターンシップ	①									
			選択	長期インターンシップ	①									
			必修	工学専攻特別研究Ⅰ	①									
			必修	工学専攻特別研究Ⅱ	①									
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)											
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
4	人	必修	20	科目	必修	20	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	14	科目	選択	11	科目	選択	2	科目	選択	1	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	34	科目	計	31	科目	計	2	科目	計	1	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)										
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
5	人	必修	25	科目	必修	25	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	13	科目	選択	2	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	41	科目	計	38	科目	計	2	科目	計	1	科目

- (注) ・ 就任辞退 (未就任) 及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

#### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林教授分：生体触媒工学は、今年度は開講せずに現在在職している教員で担当するように検討中である。学生へは今年度は開講されず、来年度開講予定であるので、受講希望の学生は来年度受講するようにオリエンテーションならびにメールにより周知している。今年度開講されないことによる学生への影響は無いと考えられる。</li> <li>・ 原助教分：原助教は大学院の授業および指導の資格認定は受けていたが、28年度について授業は担当しておらず、29年度も担当を予定していなかった。研究指導する大学院生はいなかった。学生への周知は履修案内を通じて行っていた。</li> <li>・ 久保田准教授分：担当者が他大学に異動したため辞任した。履修希望者がいる場合は、同担当者に非常勤講師を依頼し開講する予定である。当該科目は選択科目であり、専攻内では十分な数の講義を提供しているため、履修希望者がいない場合は開講しなくても問題は生じない。学生には、年度当初のオリエンテーションにおいて周知している。</li> </ul> |
|---|

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		是正意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・ 同一設置者が設置する既設学部等（〇〇学科、●●学科）の～すること。	〇〇意見	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<工学研究科 工学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 24px; font-weight: bold;">該当なし</div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

工学研究科における教務及び学生の厚生補導事項等に関することを審議する委員会として教務委員会を設置している。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

#### ○教務委員会

1. 4月1日(9人), 2. 4月12日(9人), 3. 4月18日(9人), 4. 4月27日(9人), 5. 5月10日(9人), 6. 5月24日(9人), 7. 6月14日(9人), 8. 6月28日(9人), 9. 7月5日(9人), 10. 7月26日(9人), 11. 8月30日(9人), 12. 9月6日(9人), 13. 9月27日(9人), 14. 9月29日(9人), 15. 9月30日(9人), 16. 10月4日(9人), 17. 10月18日(9人), 18. 10月28日(9人), 19. 11月8日(9人), 20. 11月15日(9人), 21. 11月29日(9人), 22. 12月13日(9人), 23. 1月10日(9人), 24. 2月3日(9人), 25. 2月21日(9人), 26. 3月2日(9人), 27. 3月14日(9人), 28. 3月31日(9人)

※上記のうち第3、14、15、18、20、28回は学部に係る事項のみ。

##### c 委員会の審議事項等

平成28年度TA経費の予算配分について。

DDP学生の単位認定について。

学生の身分異動について。

研究生の受入について。

カリキュラム（履修案内）の一部改正について。

LP&DDP学生の成績優秀者の確認について。

平成28年度学位論文審査委員の選出について。

大学院工学研究科の修了判定について。

平成28年度修了予定学生に関する学位論文名の確認について。

LP&DDP学生の単位認定について。

大学院工学研究科における奨学金返済免除候補者の推薦順位決定について。

平成28年度修了判定について。

第一種奨学金返済免除候補者の推薦について。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 第1回FD講演会（11月15日）（127人）
- ・ 草の根FD情報交換会（3月15日）（22人）
- ・ 大学院修士課程必修3科目の実施状況等に関するFD情報交換会（3月17日）（23人）

b 実施方法

上記のとおり

c 開催状況（教員の参加状況含む）

上記のとおり

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

今後の授業実施や授業評価等をもとに必要に応じて改善等を行う予定

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期と後期の定期試験前に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

平成29年度中にWebで公開する予定である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施することとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年11月末頃を予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成33年度に評価機関の評価を受審予定

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成29年 8月 1日 )